

# 深浦町文化協会活動中!

..... 加入団体を紹介します .....



ネプタ囃子に踊りを添えて(岡町屯所前)



夕陽をバックに力強く演奏(12区集会所前)



太鼓と鉦の囃子で念仏舟を運行(浄安寺前)



住職の読経とともに念仏舟を海へ流す

## ☆深浦ネプタ囃子保存会(増富与志徳会長)

### ○結成時期

昭和47年10月結成、現在に至る。会員16名。

### ○活動内容

囃子の練習 7月下旬から毎週火曜日 19:00~20:30(武道館)

8月1日 ネプタ囃子演奏(岡町~浜町 4か所で開催)その他 各種イベントでの演奏

深浦全町のネプタ囃子は、当保存会のネプタ囃子を正調ネプタ囃子とし、会員一丸となって普及・保存・宣伝に努めています。そのため、自身の練習は勿論のこと、後継者育成にも力を入れ、各地区子供会への指導も行います。

また、町及び各種団体のイベントでの演奏要請には、積極的に出演しています。

以前は各地区子供会のネプタ運行と一緒に演奏していましたが、現在ネプタ運行は無くなり、ネプタ囃子と踊りを披露しています。

地域の人が演奏を楽しみにしていますので、景気づけのために頑張っています。

### ○会のモットー

会員は、町内在住の有志を中心に構成していますが、中には町出身者で町外からの参加者もいます。祭りが近づくにつれ、練習にも力が入ります。深浦ネプタ囃子は、笛と太鼓の息の合った迫力ある演奏が見所です。また、ネプタ踊り普及会の皆さんが、迫力のある演奏に花を添え華やかに、楽しく演奏しています。深浦ネプタ囃子(笛・太鼓)に興味のある方、一緒に演奏しませんか。

## ☆関の念仏舟保存会(吉田高志会長)

### ○結成時期

関の念仏舟は天明2(1782)年の海難事故の犠牲者を慰めるために行われるようになったと伝えられています。

### ○活動内容と今後について

現在は、毎年8月20日に新たに亡くなった人を供養するため行われています。

長さ2メートルほどの木造の念仏舟に乗せるため、新たに亡くなった人や住職の人形を半紙で作ります。

当日の夕方、浄安寺において念仏舟に人形とローソクを立て花を積み、住職が法要を執り行います。

その後、念仏舟をリヤカーに乗せ太鼓と鉦の囃子で地区内を練り歩き船揚げ場まで運行します。

船揚げ場では漁船に念仏舟と灯笼を積み込み住民に見送られ沖に出た後、住職が経を唱え乗り組んだ人たちにより念仏舟と灯笼を海に流します。

近年は、コロナ禍等の影響もあり、念仏舟の運航は浄安寺から船揚げ場までとなっています。

これからも昔から伝承されている関地区のお盆の行事を後世に伝えていきたいと考えています。

□問合せ先 深浦町文化協会事務局(深浦町公民館内) TEL 74-2031

# 深浦町公民館で体験学習!

深浦町公民館では青少年を対象に、学習や体験することによって普段の生活や身の回りの出来事に関心を持ち、仲間意識や自ら考え行動することを目的に講座を開催しています。

今回は夏休みを利用して、8月9日(金)小学校4~6年生を対象に、午前の部 環境学習「地球温暖化ってなに?」、午後の部 食育講座「お菓子をつくって食べよう!」を募集したところ、小学校3年生と中学校1年生の飛び入り参加を含め合計15名の参加となり、小中学生間の交流を図りながら、大盛り上がるのろソク作りやお菓子作りの学習でした。

## 【環境学習】(午前の部)

講師:あおもりアースレンジャー 世永恵美子氏

※青森県地球温暖化防止活動推進員として、地球温暖化の現状及び地球温暖化防止対策の重要性について住民の理解を深める活動をしています。

共催:NPO法人 青森県環境パートナーシップセンター(担当:工藤真琴氏)

最初に講師から、地球温暖化の最大の原因は、石油や石炭など化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素だと言われていることや、対策の一つとして私たちにできることは何かを考えたとき、きちんとごみを分別し、資源ごみをリサイクルすることにより、燃やせるごみを少なくすることで二酸化炭素を減らすことが大切だと学びました。

体験学習では、食用廃油を再利用してキャンドルを作り、最後は、センター作成のテキストで環境マークと町の資源ごみの出し方を学びました。

参加者からは、「環境マークは知っているが、ごみの分別はお母さんがやっている。今度から私もやります!」「ごみを再利用するため、ごみの分別をがんばろう!」など、私たちにできることをやってみよう!を合言葉に環境学習を終了しました。



地球温暖化ってなに? 私たちにできることは?



良い色のキャンドルができそう!

## 【食育講座】(午後の部)

講師:ふかうら達人倶楽部 大川雅氏

(プロフィール:調理師免許取得、NPO 日本食育インストラクター他)

※町民講師「ふかうら達人倶楽部」は、豊富な知識や技能を生かし、町民の学習のお手伝いをします。

普段食べているお菓子はどんなお菓子? 自分でお菓子を作って食べよう! 作り方を覚え、家族みんなに食べてもらい、みんなを笑顔にしよう!とお菓子作りに挑戦しました。

結婚式場でパティシエ経験のある講師の大川さんが、小学生にも簡単に作れるお菓子「おばけチップス」「紙コップでシフォンケーキ」の2種類のレシピを考案、お菓子作りにチャレンジしました。

「おばけチップス」では参加者の個性あふれるおばけの形のお菓子、「紙コップでシフォンケーキ」ではふくらとした出来上がりを楽しみに生地やメレンゲ作りをみんな協力。試食では、「予想以上の美味しさにみんなが笑顔に!」「今度はレシピを見ながら家で作って、みんなを笑顔にしよう!」と大盛況でした。



レシピの説明。お菓子作りは化学反応!



ギョウザの皮をどんなおばけに?